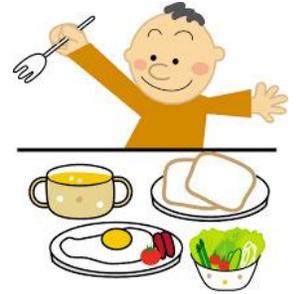


わかば

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新

寒い冬 健康的に体調管理



今年度も残すところ2ヶ月をきりました。寒い日が続く、日本ではインフルエンザが流行しています。手洗い、うがい、睡眠、栄養などに心を配り、風邪等の予防につとめるとともに、体調管理をしっかり行って元気にすごしましょう。春はすぐそこまで来ています。

- 1 睡眠をたっぷり取る。(早寝早起！起きてすぐの温かいスープがお勧めです)
- 2 野菜をしっかり食べる(かぼちゃ、にんじん、ねぎ、しょうがなどは体を温めます)
- 3 体をつかって遊ぶ(日光を浴び、体を思い切り動かすと免疫力が高まるそうです)

大事なまとめのテスト！必ず出席を！

2月18日：小学部学力テスト
 2月25日：小学部後期テスト
 中・高 学力テスト

後期、学年末の大事なテストがもうすぐあります。頑張りましょう。欠席の場合は、次週の土曜日に学校で行います。受けなければ評価ができないため通知表が渡せませんので、必ず、受けなければなりません。旅行、スポーツの試合等の理由で、テストを休まないようにお願いします。

学校からのお知らせ

◎今年度の学芸会は、中止とさせていただきます。悪天候により休校日が3日ありました。このため、授業優先の観点から、全校での学芸会は実施いたしません。ただし、写真撮影や個別の発表会は、学習進度と児童生徒の意欲次第では可能ですので、まずは学習に力を入れてくれることを期待しています。個別実施の場合でも、学芸会担当の保護者の皆様のお力添えはいただかないように考えています。お礼が最後になり申し訳ありませんが、学芸会担当の保護者の皆様には、長きにわたりご心配・ご協力下さいましたことに感謝申し上げます。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

○1月～3月分授業料の請求書を送付いたしました。Eメールを受信されていない方は、至急ご連絡ください。また、1/6 および 1/13 にメール配信しました「休校のお知らせ」が届いていない場合もご連絡ください。(既にお知らせいただいた方は結構です。)

○今年より学校行事のDVD販売および収録は行いません。どうぞご了承ください。

○小、中、高の全学年において、3月1日まで毎週6時間授業を実施致します。

遅刻、早退、お迎えの時間(3:15)にご注意ください。幼稚部のお迎え時間は平常通り2:30です。

○現地校のバスケットボールの関係もあり、駐車場が大変込み合っています。駐車をされる際は、ほかの方の迷惑にならないようにご配慮をお願いいたします。お迎えを終えた方は、カフェテリアにとどまることなく、速やかに下校をお願いいたします。完全下校は3:50です。

<6時間授業日課表>

ホームルーム	9:00~9:10	1時間目	9:10~9:55	2時間目	10:00~10:45
中休み	10:45~11:00	3時間目	11:00~11:45	ランチ	11:45~12:35
4時間目	12:35~13:20	5時間目	13:25~14:10	6時間目	14:15~15:00
ホームルーム	15:00~15:15	学校事務局 電話: 503-641-9200 Eメール: pjs@shokookai.org			



新しい事務局員の紹介

新しく事務局に加わりました関口博子です。東京出身の下町育ちです。1999年にオレゴンへ留学で来て以来こちらに住んでいます。毎年6月から始まるオレゴンのベリーシーズンを楽しみにしています。皆さんのポートランド日本人学校での生活が円滑に過ごせる様、頑張っておサポートしていきたくと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。



※ これまで勤務していただいていた、幼稚部 タバンギャリ 康子 教諭 ならびに 大野 絵理子 事務局員 は、お二人ともご家庭の事情により12月末をもちまして、退職されましたのでお知らせいたします。

児童生徒の作品より



『 フォゴ・デ・チャオ 』 小学部2年3組 ライス 杏香

クリスマスイブの夕食に、フォゴ・デ・チャオに行きました。おばあちゃんとわたしのかぞくで行きました。みんな、きれいなようふくをきました。

フォゴ・デ・チャオでは、ウェイターがお肉をみんなのテーブルにもってきます。目の前で、お肉を切ってくれます。テーブルの上にカードがあります。みどり色は「もっとたべたいです。」といういみです。赤は、「今、ほしくないです。」といういみです。

サラダバーもありました。クリスマスプレゼントのこうかんをしました。ぜんぶおいしかったです。

お兄ちゃんは、「ぼくのたんじょう日に、またきたいな。」と言いました。わたしもまたいきたいです。

『 世界に広がる和食について 』 中学部3年 山本 彩奈

海外で、日本の和食への関心が高まっている。その一方で、日本人の和食への関心は薄れている。そんな今だからこそ、日本人も和食の素晴らしい魅力を再認識するべきである。

一つ目の理由は、日本の伝統的な調理法が失われつつあるからだ。和食は基本の味付けから手間暇をかける分、素材の良さが引き立つ。しかし、調査によると、約二割の人しかこのような調理法を行っていない。

二つ目の理由は、日本人の文化に和食は大きく関わっているからだ。日本人の健康を長年に渡り支えてきた。また、日本の伝統的な行事を彩ってきた。例えば、お正月には、おせち料理があることで、よりいっそう楽しいものになっている。

このように、和食は日本の生活、文化を古くから支えている。そんな魅力にあふれる和食を大切にするためにも、和食の魅力を再確認する必要がある。

『 世界に広がる和食について 』 中学部3年 林 葉月

無形文化遺産の一つとなった和食。しかし、現在の私たちの食生活の中で、和食とのかかわりは、薄くなりつつある。だから、私たち日本人は次のような取り組みをすべきだと考える。

一つ目は、学校や家などで、和食の作り方を学ぶことだ。和食の魅力、独特な盛り付けなどを、自分で知ることによって、日本の誇る文化を理解できると思うからだ。

二つ目は、地元の名物を全国に広げると同じように、外国人にも和食の良さを味わってもらえるよう、積極的に外国人との交流を深めることだ。そして、日本の食文化を理解してもらい、より多くの人々が和食を楽しめば、世界中で和食は愛されるだろう。

日本の伝統文化の一つである和食。和食の未来を支えるためには、私たち一人一人の知恵と行動が不可欠だ。私は和食を守り、後世へ繋げたいと考える。

